

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
①		予算や人員などの行政資源を投入して、どれだけの活動を行ったのか、どれだけの行政サービスを提供したのかを細事業ごとに指標を設定して記載しています。過去3年度の実績値と当年度の計画値を記載しています。					
②							
③							

《コスト評価による年度比較》【19】

コスト評価	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
対象(市民)	事務事業費用を事務事業の対象で割ったものを年度で比較し、100%を上回ると、前年度よりコストパフォーマンスが良くなったことを意味します。その逆で、100%を下回ると、前年度よりコストパフォーマンスが悪くなったことを意味します。			
投入コスト合計(千円)				
対象1単位あたりのコスト(千円)				
コスト評価(対前年比)				

《事務事業の成果》【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1			事務事業を実施した結果、対象がどのような影響や成果をどれだけ受けたかを指標を設定して記載しています。過去3年度の目標値と実績値、当年度の目標値を記載しています。			
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象 <input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下 <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 市が関与して実施すべきか、社会的背景の変化により役割が薄れていないか、など事務事業の妥当性についての評価を行っています。事務事業を妥当性の視点から評価し、廃止・目的の再設定等の改善を図ります。
	<input type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して <input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討は <input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持 <input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の	成果を下げずにコスト削減ができないか、民間委託等により民間のノウハウを活用できないか、改善できる手続きはないか、など事務事業の効率性についての評価を行っています。事務事業を効率性の視点から評価し、コスト等の改善を図ります。
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> 成果指標を設定している <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待で <input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させ <input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供 <input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 目標は達成できたか、手段を見直すことなどによってさらに成果を向上させる余地はないか、など事務事業の有効性についての評価を行っています。事務事業を有効性の視点から評価し、成果向上等の改善を図ります。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる	受益者負担を求めることはできないか、負担の水準は妥当か、など事務事業の公平性についての評価を行っています。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	昨年度の評価結果を踏まえ、どのような見直しや改善が行われたかを記載しています。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	上記の活動実績、成果の達成度、各項目の評価等を踏まえて、所管課として事務事業の今後の方向性を選択し、判断理由や事務事業の見直し、改善の具体的内容を記載しています。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	次年度予算の増額または減額が見込まれる場合、細事業の名称を記載していま		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	事務事業に対する評価責任者(課長等)の所見を記載しています。	評価責任者
----------------------	--------------------------------	-------